

平成 30 年 2 月 2 日

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
運営委員会議事録（2 月期）

【出席者】（敬称略）

濱田、石丸、岡部、片桐、木村、古池、葉木、事務局天寺

沢野推進委員会委員長、オブザーバー：森村

1. 濱田代表理事 挨拶

2 回目の降雪は幸い大雪にならずに済んだが、北陸では大雪で被害がでている。31 日には皆既月食があり、こうした年は地震が頻発する過去の事例もある。白根山・蔵王山と噴火が続いており、地震活動も活発になっているように感じる。いずれにしても備えをきちんとすることを地域でも伝えて欲しい。関東では、3.11 の地震が Max という感覚があるように見受けられる。7 年前大丈夫だったから今度も大丈夫という誤った思いがある。地震に対して正確なイメージが湧いていない。イメージトレーニングをして正しい啓発をするように心掛けてほしい。

2. 推進委員会澤野委員長 委員会報告

添付資料「事業報告と今後の予定」のとおり。

3. 公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワークからの報告

添付資料「運営委員会議事」のとおり。

- 2017 年（平成 28 年）事業報告書および 2017 年活動について報告・確認した。
- 運営委員会規則の修正では、「運営委員会推薦は、改選前の旧運営委員会が推薦し、改選後の新理事会が承認する。」の一文をいれた。
- 第 5 回定時社員総会議案と出欠席ハガキ（委任状）は、3 月理事会後に発送する。「出席者も委任状に署名の上、投函するように」周知すること。
- 新 SL 帽子を、総会の場にて頒布する予定だったが、業者より納品の遅れの連絡が入る 4/3 納品。そのため、各地域ネットでの取り纏め頒布を検討したい。
- B 会員について検討した。B 会員については、別途内規を作ることとなった。また今回の件については、地域ネットワークが面談して、理事会が追認する方向とする。

4. 各地域の活動報告

埼玉県ネット（天寺）

- 1/28 活動報告会。次期運営委員には若笠 SL、高木 SL が推薦された。
- 2/2,3 杉戸町協働型訓練に参加。HUG を担当する。

千葉県ネット（片桐）

- 1/27 活動報告会。28 名参加。次期運営委員には木村 SL、岡部 SL が推薦された。
- 活動報告会の後、NHK 千葉放送局の高嶽アナウンサーによる講演会が開催された。
- 1/24 千葉県国民保護共同実働訓練に古池 SL・天寺が参加した。
- 2/5 船橋市図上訓練。片桐・天寺が市民・ボランティア役でコントローラーを担う。

- 2/12 四街道市、2/18 習志野市、2/21 流山市の社協でそれぞれ災害 VC 訓練を実施。

県央ネット（濱田）

- 2/1 活動報告会。次期運営委員には石丸 SL、佐藤 SL、葉木 SL（運営委員会推薦）が推薦された。
- 2/8 から助け合いセミナーを3回で企画。19時から実施し、働く世代を意識した研修。
- 2/7 女性のための防災講座「アラ！簡単、おいしい防災」を秦好子さんと呼んで実施。

6. その他

【次回の開催日】

2018年3月2日（金）13時30分～運営委員会

理事会は3月2日（金）10時00分～

2018年1月の事業報告と今後の予定 (1.12 2.2)
(2月2日/災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野次郎)

はじめに

- ・消防庁の「大規模災害団員」構想とSL活動の今日的意味
- ・東京の大雪警報と積雪
- ・本白根山の噴火と「火山予知」

1、防災とボランティアをめぐる情勢

1-1 社会全体(危機管理を中心に)

- ・平昌オリンピック 2/9-25

1-2 災害,大規模事故分野

国内 ア 地震(気象庁発表で震度5強以上,首都圏は震度4以上、内閣府掲載)

イ 風水害(内閣府または消防庁災害情報掲載を主に対象)

1/22 午後 東京23区 積雪20センチ超 4年ぶり

1/24 東京 最低気温 -4 48年ぶり

ウ 事故等

エ 火山等

1/23 09:59 本白根山鏡池付近 水蒸気爆発 死者1人

海外 ア 地震(USGC発表、日付UTC、Mw7以上又は報道等で犠牲者多数)

日時	UTC	震央	M	深さ	国	死者
1/14	0918	SSW of Acari, Peru	7.1	36.3 km	ペルー	
1/23	0931	SE of Kodiak, Alaska	7.9	20 km	アメリカ	

イ 火山

1/13 フィリピンルソン島マヨン山 以後、断続的に噴火

ウ 風水害

- ・アメリカ全土、記録的な寒波 12末より

エ 事故等

オ テロ等(公安調査庁世界のテロ等発生状況等より)

1-3 防災行政等の動き

ア 政府

[内閣府]

[消防庁]

- ・1/09 「消防団員の確保方策等に関する検討会報告書」公表「大規模災害団員」の導入

- ・1/19 消防団に関する大臣書簡

[気象庁]

[文部省]

イ 自治体

ウ 東日本大震災

- ・1/16 復興庁 避難・転居者数 7万5206人 前月比 -2,230人

オ 防災訓練等

1-4 災害ボランティア等の動き

1-5 注目すべきメディアと書籍等

- ア TV [NHK] 遺児たちのいま 阪神・淡路大震災 23年 1/17 放送
- イ 書籍

2、この間の主な活動と今後の予定

2-1 基盤としての総合的な災害ボランティア活動

A、災害ボランティアリーダー養成事業

ア S L 講座 9910人 公認講座 2,230人* 計 12,140人

イ 本部主催のS L 養成事業

- ・首都圏 105期・立教大学講座 2/24-3/3-10
- ・神奈川 66期 相模原県央講座 3/6-7-8

ウ 大学等受託のS L 養成事業

B、防災/減災啓発推進事業

ア 本部等主催の防災啓発推進事業

イ 他主催の事業への協力

- ・[終了]1/27 TKP 竹橋 防災とボランティアのつどい 内閣府

ウ 他主催の事業情報

C、S L ネットワーク/災害ボランティア活動報告

ア 会議行事等

- ・[予定] 3/24 社団総会
- ・[事務]会費納入と役員選挙

2-2 総合的な防災事業

A、シェイクアウト事業（防災訓練事業）

ア 到達点 2017年 国内累計約 667万人

イ 新規 2/16 1100 シェイクアウト福島

ウ 終了 1/17 1000 神戸市シェイクアウト

B、防災教育推進事業

ア 防災教育チャレンジプラン・内閣府共催事業

- ・[予定]2/17 最終報告会

イ 防災教育普及協会事業

- ・[報告]1/12 普及協会新年会 サンケイホール
- ・[予定]2/18 指導者育成セミナー 東大地震研

ウ 学校・団体等防災教育推進事業

- ・[予定]2/09 全国・東京都学校安全教育研究大会 三軒茶屋小学校
- ・[各地]学校での防災教育支援

C、防災研究事業

3、事務局等

- A、広報 2月25日発行(予定)

以上

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
2月2日運営委員会 議事

1. 報告事項

1.1. 2017年事業報告書の確認

- 添付資料・事業報告書
- 添付資料・2017年活動（運営委員会報告分）

1.2. 各県の活動報告会における理事候補者および運営委員選出について（暫定報告）

理事定数 6名

埼玉県地区から若笠 SL

千葉県地区から片桐 SL、古池 SL

神奈川県地区から濱田 SL、一政 SL

監事定数 2名

千葉県地区から沼野 SL

立候補届けおよび推薦書を受理。ただし、立候補期間は 2/2 ~ 2/23 まで。

1.3. 制帽について

4/3 納品の連絡が入る

1.4. B 会員についての検討

（定款抜粋）

第 6 条 当法人に以下の会員を置く。

（ 1 ）正会員

A 会員 災害救援ボランティア推進委員会主催の災害救援ボランティア基礎講座を修了し、セーフティリーダーの認定を受けたものであって、当法人の目的に賛同して入会した者

B 会員 災害救援ボランティア活動に関し、専門的知識と技能を有したものであって、当法人の目的に賛同して入会した者

- B 会員の入会条件として、「地域から 2 名以上の推薦をうける」としてはどうか。

2 次回運営委員会

2018年3月2日(金) 13:30~

理事会 10:00~

監査 2月28日 10:00~

以上